記者発表様式

１件１枚で作成してください。

所属（コミュニティ協働推進課）担当者（　小森琢馬　）内線（　２０５　）

タイトル

赤間地区住民が赤間駅跨線橋に世界遺産をテーマとした絵描きを実施

概要（発表内容を簡単に記入してください）

赤間駅近くの跨線橋の落書きを地域住民の手で消し、その上に描いていた絵が劣化したため、赤間地区住民が新たな絵を描きます。図案は、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」をテーマに福岡教育大学の学生が考案しました。

内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能）

◎日時：４月２１日（土）９時か１０時～ほぼ終日の予定　※予備日は２２日（日）
◎場所：赤間駅近く跨線橋の橋脚

これまでの経緯

・平成１７年１１月、１０年以上も放置されていた跨線橋のひどい落書きを何とかしようと赤間地区・赤間西地区コミュニティの関係団体等が「落書き消し隊」を結成。落書きをペンキで白塗りし、きれいに消しました。その翌年、落書きを消した橋脚におとぎ話の絵を描きました。
・１１年前に描いた絵が劣化したため、平成２９年度に赤間地区コミュニティの地域環境部会が新しく絵を描く事業を開始。図案の検討を経て、１１月にペンキを上塗りし、古くなった絵を消しました。

絵描きの内容

・福岡教育大学美術コースの加藤先生を中心として大学生に“「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群”をテーマとした図案を依頼しました。
・図案は、沖ノ島、三女神、みあれ祭などを盛り込んだ可愛らしい絵となっています。
・前日までに福岡教育大学の学生が下絵を描き、当日は絵に色を付けていきます。午後からは、赤間小学校児童も一緒に彩色する予定です。

本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先（所属、担当者名、TEL）

●赤間地区コミュニティ運営協議会：電話３９－７０５１　清水（地域環境部会担当）
●宗像市コミュニティ協働推進課　：電話３６－５３９４　小森（赤間地区担当）